

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座V		動物看護総合学科/3年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵

授業の概要

7月に行われるサービス接客検定準1級(面接試験)合格を目指し、入退室のマナーやお辞儀の仕方をはじめ、接客のロールプレイングなど練習する。
11月に行われるビジネス文書検定2級の勉強を行う。
前年度に受験した3級を復習しながら、社内文書、社外文書を作成できるようになる。

授業終了時の到達目標

サービス接客検定 準1級合格
ビジネス文書検定 2級

実務経験有無

実務経験内容

有

一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年
トリマーとして14年の実務経験
接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	はじめに	試験概要説明 願書記入
2	接客: 審査内容 文書: I 表記技能	試験概要立ち方・お辞儀の練習 「基本言動」「接客応対」の練習 1. 用字 ①文字を、丁寧に、正しく、読みやすく、整えて書くことができる 2. 用字 ①普通の実用文使い分けの常用漢字とビジネス用語に使われる漢字とを書くことができる。
3	接客: 「基本言動」「接客応対」 文書: I 表記技能	立ち方・お辞儀の練習 「基本言動」「接客応対」の練習 ②常用漢字表にはあるが、仮名書きすべき語句を、知っている
4	接客: 「基本言動」「接客応対」 文書: I 表記技能	立ち方・お辞儀の練習 「基本言動」「接客応対」の練習 ③「現代仮名遣い」について知っている ④「送り仮名の付け方」を、一定の基準に従って正しく使える ⑤数字が正しく書け、漢数字と算用数字との使い分けができる ⑥句読点のほか、各種の区切り符号が正しく使える
5	接客: 「基本言動」「接客応対」 文書: I 表記技能	立ち方・お辞儀の練習 「基本言動」「接客応対」の練習 3. 用語 ①一般の用語について、知っている ②やや難しい同音異義語や異字同訓語を使い分けができる

回	テーマ	内 容		
6	接遇：「基本言動」「接客応対」 「接客対応」 Ⅰ表記技能	立ち方・お辞儀の練習 「基本言動」「接客応対」の練習 ③慣用の手紙用語について、知っている		
7	接遇：「基本言動」「接客応対」「接客対応」 Ⅰ表記技能	立ち方・お辞儀の練習 「基本言動」「接客応対」の練習 4. 書式 ①縦書き通信文の構成とレイアウトについて、一応、知っている ②公印の押し方について、一応、知っている		
8	接遇：「基本言動」「接客応対」 「接客対応」	立ち方・お辞儀の練習 「基本言動」「接客応対」の練習 過去問題		
9	接遇：「基本言動」「接客応対」 「接客対応」 Ⅱ表現技能	1. 正確な文章 ①やや長い文を、文法的によじれなく書くことができる ②意味の近い類義語を、使い分けることができる		
10	接遇：「基本言動」「接客応対」 「接客対応」 Ⅱ表現技能	③曖昧な用語や二通りに解釈できるような語句について、知っている 2. 分かりやすい文章 ①内容を的確にした表題が付けられる		
11	接遇：「基本言動」「接客応対」 「接客対応」	②箇条書きなどを使って、文章を分かりやすくすることができる ③分かりやすくするための図表が十分書ける		
12	接遇：「基本言動」「接客応対」	3. 礼儀正しい文章 ①人を指す言葉・敬称を、よく知っている ②「お・ご」を正しくつけられる		
13	Ⅱ表現技能	③動作の言葉に付ける尊敬語と謙譲語とを、一般的な場合に、正しく使うことができる		
14	Ⅱ表現技能	④丁寧な言葉遣い・丁寧な言い回しができる		
15	8月のインターンに向けて	諸注意 面接練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定受験ガイド1・2級		期末試験 出席率 実習・実技評価	80.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 前回の改善点を、次回までに修正練習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座VI		動物看護総合学科/3年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
ビジネス文書検定2級合格に必要な、3級よりも高度な知識を身につけ、社内文書、社外文書を作成することができる				
授業終了時の到達目標				
ビジネス文書検定2級合格 社会人として必要なマナーを身に付ける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして14年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	Ⅱ表現技能	⑤現在用いられている手紙上のエチケットやしきたりを、知っている 過去問題		
2	Ⅱ表現技能	過去問題		
3	Ⅲ実務技能	1. 社内文書 ①一般の社内文書がかける		
4	Ⅲ実務技能	1. 社内文書 ①一般の社内文書がかける		
5	Ⅲ実務技能	2. 社外文書 ①普通の業務用社外文書が、文例を見て書ける ②簡単な社交文書が、文例を見て書ける		
6	Ⅲ実務技能	2. 社外文書 ①普通の業務用社外文書が、文例を見て書ける ②簡単な社交文書が、文例を見て書ける		
7	Ⅲ実務技能	3. 文書の取り扱い ①受発信事務ができる ②「秘」扱いの文書の取り扱いについて、よく知っている		
8	Ⅲ実務技能	③適切な郵便方法を選ぶことができる ④用紙の大きさ、紙質などについて、知っている ⑤印刷物の校正ができる		
9	Ⅲ実務技能	過去問		
10	Ⅲ実務技能	過去問		
11	Ⅲ実務技能	過去問		

回	テ ー マ	内 容		
12	Ⅲ実務技能	過去問		
13	Ⅲ実務技能	過去問		
14	マナー			
15	お茶の出し方			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定 受験ガイド1. 2級		期末試験 出席率 課題・レポート	80.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、テキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 実技 筆記試験、実技試験にむけて対策と 実演をする				
授業終了時の到達目標				
一般社団法人 全国動物専門学校協会 サロントリマー3級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー歴27年の経験を生かし 試験対策を通し実務につながることで 学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
過去問題を常時配布するので 解いてみる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	プードルケネル&ラム	クリッパー実演		
3~ 14	プードルケネル&ラム講義	全体の切り方の注意事項の説明		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	授業前に過去問題を 復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅠ		動物看護総合学科/3年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	75回	5単位(150時間)	必須	吉本, 森, 三村, 山地, 北村
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる				
JKCトリマーライセンスC級及びトリミングライセンス1級試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	吉本真紀 トリマーとして28年 森 純子 トリマーとして15年 三村梨恵 トリマーとして14年 山地香里 トリマーとして4年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして1年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~10	応用	トリミング犬種を中心とした実習 トリミング実習に続くカットの仕上げを行う		
11~29	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬体を考え、カットの理解を深める		
30	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
31~59	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
60	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
61~75	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅡ		動物看護総合学科/3年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位(180時間)	必須	吉本, 森, 三村, 山地, 北村
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる JKCトリマーライセンスC級及びトリミングライセンス1級試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	吉本真紀 トリマーとして28年 森 純子 トリマーとして15年 三村梨恵 トリマーとして14年 山地香里 トリマーとして4年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして1年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~90	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグトレーニング概論		動物看護総合学科/3年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 トレーニングの基礎を犬の生態含めて理解する				
授業終了時の到達目標				
犬と人の共生推進協会主催 家庭犬しつけインストラクター検定C級				
実務経験有無		実務経験内容		
有		警察犬訓練所で5年働いた経験をいかし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
座学の内容を実技に反映させること				
回	テーマ	内容		
1	犬体用語の理解	試験で使用される用語を知る		
2	トレーニング用語の理解	試験で使用される用語を知る		
3~ 4	犬の習性の理解	犬の習性を理解し犬と向き合う大事さを知る		
5	問題行動の現状	問題行動とはどんなことか		
6~ 8	問題行動の対処の仕方	よくある問題行動の対処の仕方を知ろう		
9~ 10	預かり犬のトレーニングプログラム	トレーニングの順番を学ぼう		
11~ 12	クライアントに対してのマナー	クライアント(飼い主)に対してのマナー		
13~ 14	過去問題及び模擬問題の解説	ライセンス試験に向けて勉強		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ドッグトレーニング		期末試験 出席率 出席率	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅴ		動物看護総合学科/3年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう(2年次に履修した内容をさらにレベルアップする)				
授業終了時の到達目標				
ドックトレーナー検定2級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	クリッカー集中	集中力アップ		
11~20	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
21~29	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅵ		動物看護総合学科/3年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
ドックトレーナー検定2級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	クリック集中	集中力アップ		
11~20	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
21~29	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習Ⅴ		動物看護総合学科/3年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
動物内科看護学で学習した実践能力に応用力を用いて、正確性や迅速性を身に着ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。				
授業終了時の到達目標				
飼い主から得た主訴・病歴など動物の基礎情報を収集し、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。動物種に応じた保定技術を身に着け、できるだけ看護動物に負担がなく、かつスムーズに診察・処置が行えるようサポートできるようになる。投薬や輸液の技術、衛生管理をマスターし実践できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	1, 2年時の復習	1, 2年時の確認		
2	身体検査とバイタルチェック	身体検査とバイタルチェック		
3	口腔内衛生管理	飼い主さんへの歯磨き指導		
4~5	衛生管理	消毒薬の希釈法		
6~7	調剤	薬用量の計算、薬剤の取扱い		
8~9	混注実技	シリンジの取扱い		
10~11	採血時の駆血、採血	採血時の駆血、保定法		
12	うさぎの保定	うさぎの保定、強制給餌		
13	輸液ルート of 準備	輸液ルート of 準備		
14	まとめ	まとめ		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト		期末試験 実習・実技評価 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習VI		動物看護総合学科/3年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
これまでの授業での実践能力に応用力を用いて診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。全身の身体検査を実施し、獣医師に報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担が無く、かつスムーズに処置ができるように補助をする。				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として20年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	輸液管理	輸液時の適切な管理と輸液量の計算ができる		
3~4	血液検査	CBC検査、生化学検査、塗抹標本の作製が出来る		
5~6	糞便検査	糞便検査の手順を理解し、実施できる		
7	カルテの記入	問診、バイタルチェックなどの記入、報告ができる		
8~9	術前術後の看護	手袋の装着、リネン類の準備		
10	術後腹帯の政策	腹帯の制作、装着		
11~12	麻酔モニタリング	麻酔管理、記録		
13	レントゲンじの保定	適切なポジショニングができる		
14	総まとめ	総まとめ		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー)		期末試験 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅳ		動物看護総合学科/3年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀

授業の概要

様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。

授業終了時の到達目標

動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	呼吸器の病気 1	呼吸器系の解剖生理を復習する 呼吸器の疾患(鼻汁、くしゃみ、咳)
2	呼吸器の病気 2	呼吸器の疾患(ケンネル・コフ、上部気道感染症候群)
3	呼吸器の病気 3	呼吸器の疾患(肺炎、水胸、膿胸、血胸)
4	呼吸器の病気 4	呼吸器の疾患(気胸、肺気腫、気管虚脱、横隔膜ヘルニア)
5	泌尿器の病気 1	泌尿器系の局所解剖と生理を復習する 泌尿器系の主な症状と検査
6	泌尿器の病気 2	泌尿器系の疾患(腎不全)
7	泌尿器の病気 3	泌尿器系の疾患(下部尿路疾患)
8	生殖器の病気 1	生殖器系の局所解剖と生理を復習する
9	生殖器の病気 2	生殖器系の疾患(子宮蓄膿症、乳腺腫瘍)
10	生殖器の病気 3	生殖器系の疾患(前立腺肥大、潜在精巣、陰嚢ヘルニア)
11	神経系の病気 1	神経系疾患の局所解剖と生理を復習
12	神経系の病気 2	神経系の疾患(椎間板ヘルニア、水頭症)
13	神経系の病気 3	神経系の疾患(てんかん、変性性腰仙部狭窄症)
14	神経系の病気 4	神経系の疾患(環椎軸椎脱臼、脊椎奇形)

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	復習を確認テスト で行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アニマルセラピー実習 I		動物看護総合学科/3年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションが取れるようになる ・動物を介して、よりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年の実務経験		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	アニマルセラピーとは	アニマルセラピーを理解する		
3~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く担当犬の衛生管理(シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アニマルセラピー実習Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションがとれるようになる ・動物を介してよりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年、動物病院に勤務する。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く担当犬の衛生管理(シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学 I		動物看護総合学科/3年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用についての知識を動物看護師が有することはカルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。さらに動物は、種による体重の違いも大きく、生理的代謝の特異性による投与禁忌などがあるので確認が必要となる。そのために薬物の取り扱いと保存方法を習得し、正確な薬用量計算ができなければならない。薬理学総論において薬の基本的性質、効能と副作用について学ぶ。また、薬理学各論においてそれぞれの薬の投薬前後の動物における状態の変化を学習する。飼い主に正しい投薬説明、指導ができることを目指す。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>臨床現場で使用する薬剤の種類を分類できる 臨床現場での投薬法について説明ができる 薬を投与後、体内での薬の流れと効果発現までの機序を説明できる 看護動物に使用する投与量を正確に計算できる 神経系に作用する薬について説明することができる 呼吸器系に作用する薬について説明することができる 循環器系に作用する薬について説明することができる</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 30年以上 動物系専門学校における動物看護系教務 15年		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内 容		
1~2	動物看護師による薬物の取り扱い	薬物治療の概念と目的、医薬品の分類と法規、薬の開発過程とジェネリック医薬品		
3~4	動物薬理学の基礎	薬理作用とその発現機構、薬の作用点と受容体、薬物の剤形と投与方法、生体内での薬物動態、薬効に影響を与える因子、有害作用の分類と機序		
5~8	神経系に作用する薬物	麻酔薬、鎮痛薬、運動神経系に作用する薬、鎮静薬と抗けいれん薬(抗てんかん薬、行動異常の治療薬)		
9~10	呼吸器系に作用する薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、抗ヒスタミン薬		
11~14	循環器系に作用する薬	血管拡張薬(降圧薬)、利尿薬、抗不整脈薬、強心薬(心不全治療薬)、止血薬、抗血栓薬		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コンパニオンアニマルのファーストステップ薬理学(エデュワードプレス) 動物看護コアテキスト3 動物の疾病と予防および回復(ファームプレス) 基礎動物看護学2 動物病理学・動物薬理学(エデュワードプレス) 動物看護の教科書2 基礎動物看護学		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用についての知識を動物看護師が有することはカルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。さらに動物は、種による体重の違いも大きく、生理的代謝の特異性による投与禁忌などがあるので確認が必要となる。そのために薬物の取り扱いと保存方法を習得し、正確な薬用量計算ができなければならない。薬理学総論において薬の基本的性質、効能と副作用について学ぶ。また、薬理学各論においてそれぞれの薬の投薬前後の動物における状態の変化を学習する。飼い主に正しい投薬説明、指導ができることを目指す。				
授業終了時の到達目標				
泌尿器系に作用する薬について説明することができる 消化器系に作用する薬について説明することができる オータコイド・代謝・内分泌系の薬について説明することができる 抗炎症薬について説明することができる 化学療法について説明することができる 看護動物に使用する投与量を正確に計算できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 30年以上 動物系専門学校における動物看護系教務 15年		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	泌尿器系に作用する薬	利尿薬、尿毒素治療薬、尿酸生成抑制薬、尿酸性化薬、尿崩症治療薬		
2~5	消化器系に作用する薬	催吐薬、制吐薬、消化性潰瘍治療薬、止瀉薬、瀉下薬、肝臓・胆道疾患の薬、膵臓疾患の薬		
6~9	オータコイド・代謝・内分泌系の薬	オータコイド、糖尿病治療薬、甲状腺ホルモン製剤、性ステロイド、副腎皮質ホルモン製剤		
10~11	抗炎症薬	炎症とは、ステロイド系抗炎症薬、非ステロイド系抗炎症薬、		
12~13	化学療法薬	抗菌薬、抗真菌薬、駆虫薬、抗腫瘍薬(抗がん剤)、		
14	薬用量の計算方法	薬剤の有効成分量(錠剤、粉剤、液剤)、投与量の計算		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コンパニオンアニマルのファーストステップ薬理学(エデュワードプレス) 動物看護コアテキスト3動物の疾病と予防および回復(ファームプレス) 基礎動物看護学2動物病理学・動物薬理学(エデュワードプレス) 動物看護の教科書2基礎動物看護学(緑書房)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療関連法規		動物看護総合学科/3年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
動物看護師は、動物福祉と安全な社会づくりに貢献するため、専門職としての法遵守の精神を養い、獣医療現場および動物関連の法規についての理解を深める必要がある。動物を取り扱う動物看護師としては、これらの法規を勉強して、法規に違反することなく、正しく行動しなければならない。				
授業終了時の到達目標				
獣医療現場および動物関連の法規について理解を深め社会人として知っておくべき法規についても理解し、必要に応じて飼い主に説明できるようになる。飼い主に指導する上で自分自身、法規を遵守できる人材となる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	法の基礎知識	法の基礎知識について学ぶ		
2	獣医師法	獣医師に関する獣医師法の内容を学ぶ		
3	獣医療法	動物病院に関する獣医療法の内容を学ぶ		
4~6	家畜衛生行政法規	家畜衛生行政に関する法規について学ぶ		
7~8	公衆衛生行政法規	公衆衛生行政に関する法規について学ぶ		
9~11	環境行政法規	環境の保全などに関する行政法規		
12~13	その他の関連法規	薬機法など動物看護師として知っておくべき法律を学ぶ		
14	総復習	総復習		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
人と動物の関係1(ファームプレス)		期末試験 課題・レポート 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人間動物関係学		動物看護総合学科/3年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面から理解する				
授業終了時の到達目標				
人と動物の調和に関わることを学ぶ				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年、動物病院に勤務する。		
時間外に必要な学修				
身近な動物との関係を考えて行動する				
回	テーマ	内容		
1	イヌの起源と家畜化①	イヌと人の関係を歴史から振り返る		
2	イヌの起源と家畜化②	家畜化と人の社会への適応		
3	使役動物と人の絆	使役動物と人の絆		
4	アニマルセラピー(AAT)の歴史	動物介在療法(AAT・アニマルセラピー)の概要を知る		
5	動物介在活動(AAA)、動物介在療法(AAT)、動物介在教育(AAE)	AAA、AAT、AAEの概要を知る		
6	ペットと人の絆①	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果		
7	ペットと人の絆②	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果		
8	ペットと人の絆③	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果		
9	子どもの発達と動物の関連性	ペットが関わる人のステージにおける身体的、心理的影響と効果		
10	グリーンチムニーズにおけるHAB	HAB、AAE、AATの活動事例から		
11	子どもの発達と動物の関連性	HAB、AAE、AATの活動事例から考察する		
12	高齢者施設に及ぼすペットの効果	ペットが関わる人のステージにおける身体的、心理的影響と効果		
13	動物がもたらす教育効果・事例	動物が人に及ぼす心理的・生理的・社会的効果について		
14	野生動物と人の関係	人を含め動物を取り巻く環境の遷移		
15	期末試験			

回	テ ー マ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応用動物看護学①人間動物関係学（エドゥワードプレス） ・ 動物看護コアテキスト①人と動物の関係（ファームプレス） 	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 出席率 課題・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 70.0% 20.0% 10.0% 	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物福祉・倫理		動物看護総合学科/3年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
動物看護の実践に必要とされる動物福祉の認識から、動物愛護や動物福祉の発展を学び、動物関連法規やヒトの関わりから動物福祉への精神を養う。特に、日本と欧米の歴史から動物観の違いを知り、ヒトと動物の関わり方の変遷を学ぶ。 近代の動物福祉の「5つの自由」を基に、飼育動物にとって、それらが満たされるとはどのようなことを考える。				
授業終了時の到達目標				
動物看護の実践に必要とされる動物福祉を学ぶことによって、個々の動物に応じた「生活の質」とはどんなものか考えられるようになる。飼い主や関係者に動物福祉の概念を伝えられるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として20年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	動物福祉の概念	動物福祉・倫理とは何か		
2~3	動物福祉の歴史1	西欧と日本の宗教観・価値観の違いから動物愛護や動物福祉の発展について		
4	日本の動物愛護および管理に関する法律について	動愛法の概要を知る		
5	獣医療における倫理	獣医療の現場で直面する生命倫理について		
6	痛みについて	痛みがある場合の動物福祉について		
7	動物保護施設アニマルシェルターについて	収容動物福祉について理解する		
8	学校飼育動物	学校飼育動物の福祉について		
9	産業動物の福祉	産業動物の福祉について		
10	実験動物の福祉	実験動物の福祉について		
11	展示動物の福祉	展示動物の福祉について		
12	野性動物の福祉	野性動物の福祉について		
13	使役動物の福祉	使役動物の福祉について		
14	ペットロスについて	ペットロス、これまでの振り返り		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト	期末テスト		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	人と動物の関係（ファームプレス）	期末試験 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
野生動物学		動物看護総合学科/3年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>自然環境の中で生息し、人間による飼育や繁殖がなく自立して生活している動物が野生動物である。日本における野生動物の現状を正しく理解する。野生動物による人への被害、逆にヒトによって多くの野生動物が絶滅の危機にさらされていること、どのようにしてこの二つの現状を改善するかを考える。また、野生動物の救護についても動物看護師として治療にかかわることになるので、理解を深める。野生動物に対する福祉を考え動物看護師としての知識を深める 「レクリエーション」「野生動物の種の保存」「野生動物の調査、研究」「教育」を目的とした動物園などの展示動物についても理解を深める</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>野生動物の現状について説明することができる 野生動物の関連法規について理解し、そこで求められる取り扱いについて説明できる 特定外来生物に指定されている動物種を知り、外来生物がもたらす影響について説明ができる 野生動物の福祉上の問題点を説明できる 野生動物の福祉向上のために行われている対策を説明できる 展示動物について現状と目的について説明できる</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として動物病院での診療業務 30年以上 教員として動物系専門学校での教務 15年		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	野生動物の概要	野生動物の分類、日本の野生動物、		
2	絶滅危惧種	絶滅危惧種とは 絶滅危惧種になる原因 絶滅危惧種の保全方法		
3	野生動物の保護に関する法律 世界の取り決め	鳥獣保護法 外来生物法 ワシントン条約 ラムサール条約 世界遺産条約 生物多 様性条約		
4~ 6	野生動物の管理	野生動物における鳥獣害の現状 管理対象となる野生動物 の生態 野生動物増加の要因 日本における取組み		
7~ 8	動物看護師と野生動物	野生動物救護の考え方 野生動物の病気と事故 野生動物 の救護体制		
9	野生動物の福祉	野生動物の福祉 野生動物の福祉に関する諸問題 対策と 課題		
10~ 11	外来生物	外来生物とは 外来生物による影響 対策方法		
12~ 14	動物園の役割、展示動物について	日本における動物園、水族館の現状とその役割について学 習する 展示動物の行動を理解し、健康と福祉に配慮した飼育環境 並びに展示方法について学習する		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用動物看護学3(エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

回	テーマ	内 容		
	動物看護の教科書第4巻（緑書房） 動物看護コアテキスト4 同b津の行動と健康管理（ファームプレス）			

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療コミュニケーション	動物看護総合学科/3年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須
担当教員			
長尾 美花			

授業の概要

看護動物の福祉は飼い主に大きく依存され、正しい知識と理解がないと、治療や処置を必要としている看護動物に適切な処置がなされず、治療されないまま、又は適切な処置がされないまま放置されることになる。本科目ではこれまでに学習した専門知識を活用し、健康維持・適正飼養の啓発と個別に応じたご家族教育・指導を通じてヒトと動物のより良い共生を目指し事例を用いて演習する。また、飼い主に指導するにあたり、説明する立場の動物看護師の人柄が重視される。医療人として信頼されるための接遇スキルを心がけた上で、飼い主に受け入れられるような知識を蓄積し、その説明能力と傾聴姿勢を身につけることが望ましい。特に家庭飼育動物は飼い主のコンプライアンスを高められることが、直接、動物の福祉にかなった生活や治癒率に結びついていることも理解する。

授業終了時の到達目標

飼い主教育がなぜ必要か理解し、飼い主と動物の個別性に合ったコミュニケーションを取ることができる人材になる。
満足していただけるホスピタリティーとは何か考え、実践できる人材になる。

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として20年間動物病院に勤務。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	クライアントエデュケーション概論	クライアントエデュケーションとは何か、なぜ必要か、どのように進めるのかをオリエンテーションする。
2	クライアントサービスについて	クライアントが求める条件とは
3~4	適正飼育・健康管理についてのクライアントエデュケーション	適正飼育について説明し、健康管理のため必要な情報を飼い主に提供できる指導方法、説明方法を知る
5	狂犬病予防接種	病気の適切な予防法を理解し、事例による説明方法を習得する
6	混合ワクチン	病気の適切な予防法を理解し、事例による説明方法を習得する
7	フィラリア、ノミ・マダニ予防	病気の適切な予防法を理解し、事例による説明方法を習得する
8	歯科予防とデンタルケア	病気の適切な予防法を理解し、事例による説明方法を習得する
9	不妊・去勢手術について	病気の適切な予防法を理解し、事例による説明方法を習得する
10	接遇とホスピタリティー	ホスピタリティーの意味をしる
11~12	院内コミュニケーション	飼い主教育を主体としたインフォームド・コンセントを理解する
13	院内マネジメント	受付業務について理解する
14	グリーフケア	対応方法と禁忌

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護の基礎 5	期末試験 授業態度 出席率	60.0% 30.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業研究ゼミⅡ		動物看護総合学科/3年	2021/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
2年時後期に決定した研究内容(テーマ)について引き続き研究を行い、前期最後には各グループの研究結果を発表する				
授業終了時の到達目標				
自分の対象とした研究分野への理解				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として20年、動物病院に勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	中間発表	現在までの進捗度を報告する		
4~14	研究、発表用PP作成	引き続き研究を行い、発表用のPPも作成する		
15~17	中間発表	現在までの進捗度を報告する		
18~27	研究・発表用PPの作成	引き続き研究を行い、発表用のPPも作成する		
28~30	研究発表	自分たちの研究してきた内容の発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
卒業研究予算として1000円/人		課題・レポート 出席率	50.0% 50.0%	【事前学習】卒業 研究に必要なデータ 収集

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習		動物看護総合学科/3年	2021/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解し、チームで行う愛玩動物に対する医療を体験する ・総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、動物看護師の実務能力を修得する ・動物看護師としての役割や責任について、認識を深める 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	実務型実習	オリエンテーションを受け、動物看護師として実際に就業することを理解する		
6~10	実務型実習	指導者の助言を受けながら、動物病院における獣医師との連携の中で看護計画の展開を修得し、動物看護実務を遂行できる能力を養う		
11~15	実務型実習	動物看護に関する多くの項目についての技術を、可能な限り体験し学習する		
16~20	実務型実習	動物病院内における、動物看護師の役割やチームで行う愛玩動物に対する医療の機能、行動、責務について考えることができる		
21~25	実務型実習	動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など、基本的な事項についての認識を深める		
26~30	実務型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を十分に把握し、実践に活かす		

回	テーマ 教科書・教材	内容	
		評価基準	評価率 その他
		実習・実技評価	100.0% ・「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに点数化し評価する【衛生・健康管理】（優）8点（良）7点（可）6点（不可）5点【接遇マナー、勤務状態】（優）6点（良）5点（可）4点（不可）3点 ・合計で100点満点とする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
大動物実習		動物看護総合学科/3年	2021/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
<p>伴侶動物とは異なる生理・生態・行動・習性・疾病・飼育管理方法などを学ぶことにより、大動物臨床現場において応用可能な知識・技術を習得し、臨機応変な対応・考え方のできる動物看護師となり、社会人として必要な教養や一般常識を身に付けることが重要である。それぞれの動物に対し、伴侶動物とは異なる愛護精神が必要となるため、多様性のある物事のとらえ方、動物との接し方・技術を学び、かつ動物看護師としてどのように関わっていくかを考え思慮を深める。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>産業動物の社会的役割と目的、管理について理解し、多方向から看護対象をとらえることが出来る看護感を養うとともに、正しい知識を身に付けてそれを社会に普及・啓発し動物福祉の観点からヒトと動物の共生に寄与する人材となることを目指す。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	大動物実習	「香川県畜産試験場」「香川県東部家畜保健所」における外部実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4(ファームプレス)		実習・実技評価 課題・レポート	50.0%	
動物看護の教科書4(緑書房)			50.0%	
応用動物看護学3(インターズー)				